キャラクター名: ガスター

プレイヤー名:

種族	フィー	種族特徴	妖精の加護、浮遊		
生まれ	妖精学者	性別	女性型ではある	年齢	わからん
冒険者Lv	9	経歴	かつて信頼できる友人がいた		
経験点	0		大切な人と生き別れている		
			年の離れた友人がいた		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	7	器用度	7	2		16	2
		敏捷度	12	3		22 + 2	4
体	7	筋力	5	1		13	2
		生命力	6	3		16	2
心	14	知力	5	6		25 + 1	4
		精神力	8	8		30	5

技能	Lv.	技能	Lv.
フェアリーテイマー	9		
スカウト	5		
セージ	5		
アルケミスト	2		

戦闘特技

トレジャーハント	2120p		p
鋭い目	2120p		p
魔法拡大/数	226 p		p
武器習熟A/スタッフ	IB31 p		p
魔法誘導	IB32 p		p
魔法収束	227 p		p
魔法制御	222 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドレイク語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○
妖精語	○	
妖魔語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術

モラル	
パラライズミスト	
バークメイル	

名誉アイテム	点数
専用化：装飾品	50
専用化：装飾品	50

名誉点 所持 200 /合計 300

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	ソフトレザー		7	0	3
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能		合計値		0	3

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マナスタッフ 魔力+1、魔法の武器	2H	3	1	2d+ 1	12	1	13										
				2d+													
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

冒険者セット	○□□○□□
保存食（一週間）x2	○□□○□□
スカウト用ツール	○□□○□□
テント（６人分）	○□□○□□
	○□□○□□
５点魔晶石x2	○□□○□□

陽光の魔符（＋２）	○□□○□□
月光の魔符（＋２）	○□□○□□
アルケミストカード緑：Ａx7	○□□○□□
アルケミストカード緑：Ｓx2	○□□○□□
１０点魔晶石x9	○□□○□□

所持金 2830 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	24 m	72 m

回避	防護点
2d+ 0	3

HP
45

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 10	2d+ 9

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 11	2d+ 14

MP
59

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
妖精魔法	9	14			

装備品		説明
頭	とんがり帽子	魔物知識判定に＋１
耳		
顔	ひらめき眼鏡	探索と見識に＋１
首	幸運のお守り	
背中		
右手	知性の指輪	
腰	アルケミーキット	
足		
その他		

装備品		説明
左手	疾風の腕輪	

その他メモ

かの妖精の名はガスター。彼女はフィーと呼ばれる古代種妖精であり、本来は通常の空間で合う事は出来ない生き物である。
では何故今この妖精はこのザルツの地を歩いて、いや飛んでいるのだろうか。その謎を紐解くには彼女の過去を知る必要があるだろう…

とある妖精がいた。彼女はとあるトーテムから生まれ、日々を享楽的に過ごしていた。
ある時は歌を歌い、ある時は客人を"いたずら"で歓迎し、またある時は古老たちの話す物語に耳を傾ける日々…

そんな彼女にも特に親しい、親友と呼べる妖精がいた。彼の名はガスターといい、外の世界を冒険してきた古老の一人だった。
彼女は特に彼の話を聞くのが好きであった…暇さえあれば彼の元に向かい、外の世界の話を熱心に聞いていた。
そんなある日、彼女の大好きなガスターに寿命が来てしまった。彼は消える間際、彼女にこう言ったという…
「外の世界に行くんだ…今日から君が、『ガスター』を名乗り世界の謎を解き明かすんだ…！何故なら君には、その資格があるのだから…！

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟